看護部だより10月号
 ことり新聞

October 2025.10.7 Vol.150

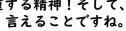
朝・夕のひんやりした空気に、秋を感じるようになりました。秋といえば「食欲の秋」 「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」etc・・ 皆さんはどのような秋をお過ごし でしょうか!(^^)!

私はスポーツ観戦が大好きです。なので8月からとても忙しい日々を送っています。 野球から始まり、バレーボール・世界陸上・レスリングの世界選手権・そして 相撲・・国体・・野球、バスケ・・心揺さぶられる日々が続いています。 一生懸命な姿、勝っても負けても、それぞれの人生のドラマを想像し勝手に感動 しています。

2020年、体育の日からスポーツの日(10月第2月曜日)に変わりました。

「スポーツを楽しみ、他者を尊重する精神を培うとともに、健康で 活力のある社会の実現を願う」ことを趣旨に定められています。 他者を尊重する精神!そして、活力あるチーム!私達看護チームにも





🖐 短い秋になりそうです。体調管理を行い仕事も遊びも楽しみましょう! 2025年下期もよろしくお願いします。 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6



10月

9/22~2日 大阪医専実習受け入れ

1日 介護福祉十入職式

認知症ケアチーム研修Ⅳ 🐥

7日 排泄ケアスペシャリストTEST

8・15日 法人卒後2年目「チーム連携に

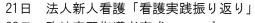
≱ おけるメンバーシップ」

15日 新人看護師「臨床倫理」

17日 補助者のやりがいを見つける

19・25日 福利厚生イベント





23日 臨地実習指導者育成フォローアップ

インターンシップ受け入れ

25日 法人新J4「ファシリテーション」 28日 排泄ケアスペシャリストフォローアップ

29日 新人看護「多重課題」

30日 在宅看護

31日 脳卒中看護





今月の偉人名言

感謝の気持ちは幸せにつながり、怒りや妬み、恨みに対する最高の解毒剤になる。 威謝の気持ちを性格の一部にしよう

医療安全対策委員会

副委員長 西3階 河野看護師長

9月に実施した「患者誤認」に関するアンケートでは、多くの看護職員の 皆さんに事例回答と日頃の取り組みを共有していただきました。 ご協力ありがとうございました。 今回のアンケートを通して、患者誤認の リスクに対する意識がまだ十分に根付いていない場面も見受けられました。 改めて、患者誤認は誰にでも起こりえること、そして日々意識し続けること の重要性を再認識する必要があります。

ケアの提供前には一度立ち止まり、ネームバンドでの本人確認を 徹底しましょう。人は誰でもヒューマンエラーを起こす可能性が あります。「自分は間違わない」と過信せず、「もう一度確認

しよう」・「人はミスをする かもしれない」という意識 を持つことがが大切です。 小さな確認が、大きな事故を 防ぎます。看護部全体で、 患者さんの安全を守るため に、今後も一人ひとりが 高い意識を持って 行動していきま しょう。

◎ネームバンドで直前の確認を徹底







BLS研修

|9月16・30日に協和会病院臨床工学士沼田主任に講師に来て いただきBLSの研修が行われました。

| 院内であったり、外であったりといくつかの場面を想定しての 研修でした。院内ではドクター千里のシステムに従った動きをし、屋外では まず自身の安全確保を行わなければならないと説明がありました。





参加者は皆さん倒れた人を 助けるために大きい声で指示を 出したり、心臓マッサージ (胸骨圧迫)をおこなったりと 真剣だけど役になりきって 楽しく受講されていました。

8月 新規褥瘡発生 5人

1人 ・東4階 1人 3人 • 西3階 ・西6階

(9月褥瘡予防対策委員会より)